



ハイブリッド加湿器

KH-J302

取扱説明書

保証書付

もくじ



- 安全上のご注意 ①～③
- 知っておいていただきたいこと.. ④
- 各部の名称..... ⑤～⑥
- 準備..... ⑦
- 使いかた ⑧～⑨
- お手入れのしかた ⑩～⑬
- 保管のしかた..... ⑭
- 故障かな?と思ったら..... ⑮
- よくあるご質問..... ⑯
- 仕様..... ⑰
- アフターサービスについて..... ⑱
- 保証書..... 裏表紙



家庭用

- 業務用として使用しないでください。
- 他の用途でのご使用はしないでください。思わぬ事故の原因になります。

- ・このたびは弊社ハイブリッド加湿器をお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。
- ・ご使用前に、この取扱説明書を必ずよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- ・お読みになった後は、大切に保管してください。

安全上のご注意 **必ずお守りください**

●お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、安全に関する内容を記載しています。内容をよく理解して記載事項をお守りください。

	警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの
	注意	誤った取扱いをしたときに傷害または物的損害のみに結びつくもの

図記号の説明



禁止

禁止(してはいけないこと)を示します。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



指示

指示する行為の強制(必ずすること)を示します。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



注意

注意を示します。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。

警告



分解禁止

分解・修理・改造をしない

火災・感電の原因になります。修理はお買い上げの販売店にご相談ください。



禁止

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりしない

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



交流100V

電源は交流100Vで使用し、コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない。

たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因になります。



禁止

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差込がゆるいときは使わない

感電・ショート・発火の原因になります。



禁止

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない

感電・やけど・けがの原因になります。



禁止

吹出口やすき間にピンや針金など金属物や異物を入れない

感電や異常動作してけがの原因になります。



濡れ手禁止

濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電やけがの原因になります。

⚠ 警告



毛足の長いじゅうたんや畳の上など不安定な場所に置かない
振動や引っ掛けて転倒すると水がこぼれ、ショートや感電の原因になります。



倒れて他の電気製品などに水がかかるような場所に置かない
こぼれた水で、ショート・感電・故障の原因になります。



お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
感電やけがをすることがあります。



根元まで
差し込む

電源プラグは根元まで確実に差し込む
感電・ショート・発火の原因になります。



ほこりを
とる

電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付いているときは乾いた
布で拭き取る
火災の原因になります。



プラグを
抜く

異常時(水漏れ、コゲくさい臭いなど)は運転を停止して電源プラグを
抜く
異常のまま運転を続けると火災・感電の原因になります。運転を停止してお
買い上げの販売店にご相談ください。



水ぬれ禁止

本体を水につけたり、水をかけない
本体の吹出口や吸気口に水が入らないようにしてください。
感電や故障の原因になります。

⚠ 注意



プラグを
持って抜く

電源プラグを抜くときはコードを持たずに必ず先端の電源プラグを
持って引き抜く
断線やショートして感電・故障・発火の原因になります。



プラグを
抜く

使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く
絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

⚠ 注意



水タンクにお湯(40℃以上)、化学薬品、汚れた水、アルカリイオン水、ミネラルウォーターなどを入れない

禁止

水道水以外は使用しないでください。故障や雑菌の繁殖の原因になります。



吹出口や吸気口をふさがない

禁止

紙や布などでふさぐと故障の原因になります。



お部屋の加湿以外の用途で使わない

禁止

居住空間の加湿以外の用途で使うと、感電・故障の原因になることがあります。



加湿フィルターや吸気フィルターを外して使用しない

禁止

故障の原因になります。



直射日光が当たる所や暖房器具の上や近くに置かない

禁止

プラスチック部分が変形・変質することがあります。



移動時は水タンクを取り外し、水平に持ち運ぶ

水が入っているときは、傾けたり揺らしたりすると、水がこぼれます。



タンクの水は、毎日新しい水道水と入れ換え、本体内部を定期的にお手入れする

こまめな
お手入れ

カビや雑菌が繁殖し悪臭などの原因になったり、体質によっては健康を損なう原因になります。週に1~2回は必ず清掃を行ってください。

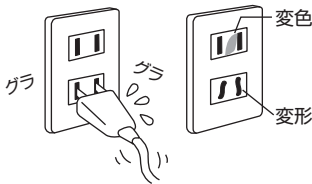
知っておいていただきたいこと

【安全のためお守りください】

- 吹出口や吸気口をふさがないでください。故障や変形の原因になります。
- お手入れは、こまめに行ってください。(P10~P13を参考にしてください。)特に内部に水あかなどが付着すると誤作動や異音・異臭の原因になります。
- 本体下部や床(設置場所)を時々清掃してください。こぼれた水を放置すると、床を傷めるおそれがあります。
- 直射日光の当たる場所や暖房器具など熱源の近くに置かないでください。タンク内の空気や水が膨張してあふれたり、変形・変質の原因になります。
- 長期間使用しないときは、必ず水を捨ててください。水が腐敗して悪臭の原因になります。
- 移動するときは、水タンクを取り出し、本体を傾けないように静かに運んでください。
- 凍結のおそれがあるときは、水タンクとトレーの水を捨ててください。放置すると、凍結して水タンクが割れたり、故障の原因になります。
- 本体内部のトレーに直接水を入れないでください。水がこぼれて故障の原因になります。
- 水タンクのキャップは確実に締めてください。また、水タンクを本体に入れるときには、水漏れがないかを確認してください。水漏れがある場合は、使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。
- コンセントの差し込みが緩くなっていないか(コンセントの老朽化)、タコ足配線をしていないか、またプラグが根元まで差し込まれているかなどを確認してください。緩くなったコンセントは使用しないでください。電源プラグの刃が変形している場合や、コードにキズがある場合などは、使用を中止し、修理をご依頼してください。

【コンセントの点検】

次のようなコンセントは、早めの交換をしてください。



- 電源プラグが軽く差し込めたり、すぐに抜けてくる。
 - 変色していたり、変形している。
- ※良好なコンセントは、電源プラグを差し込むとき、多少力が必要で、差し込んだ後もぐらぐらしません。

- この商品は一般家庭用です。業務用にはお使いにならないでください。

【ハイブリッド式加湿器の特徴】

- 水が付着した加湿フィルターに温風をあてて水を蒸発させ、湿った空気を吹出口から出して加湿します。そのため、吹出口から出る風は熱くありません。
- スチーム式や超音波式などのように蒸気や霧は見えません。

各部の名称

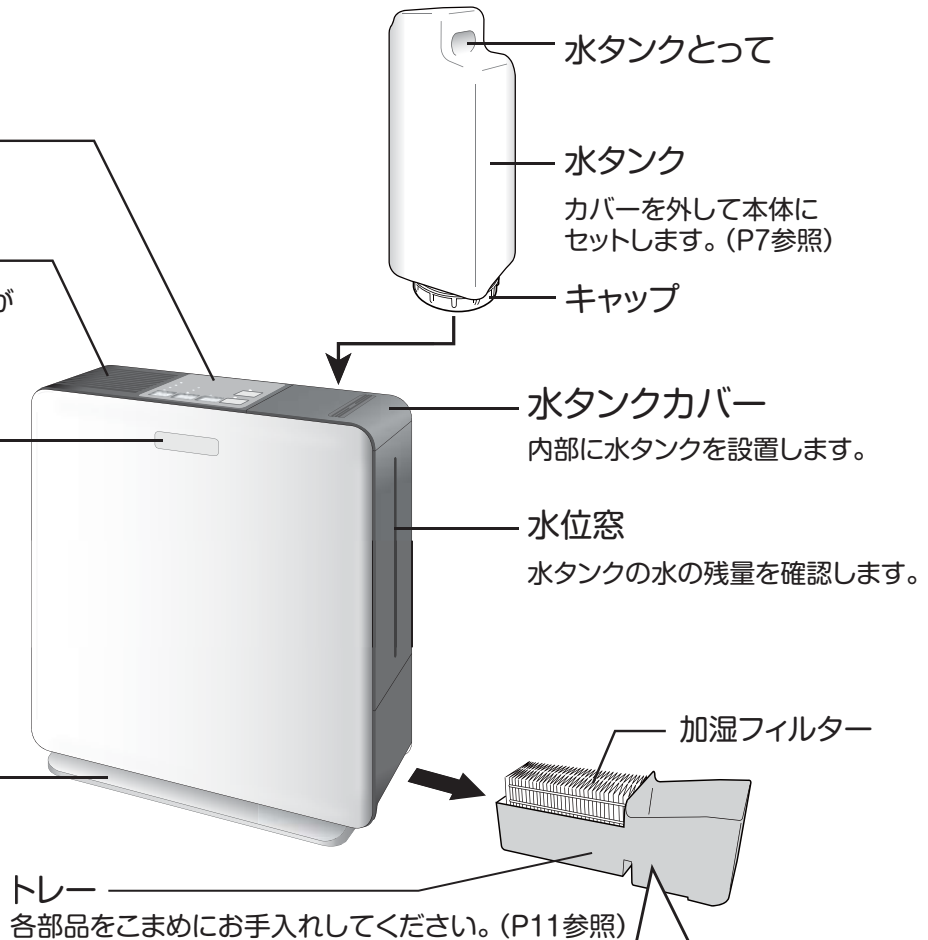
前面

操作部
P6参照

吹出口
湿気を含んだ風が
出ます。

湿度表示部
P6参照

台座



〔トレーの取り出し、取り付け〕

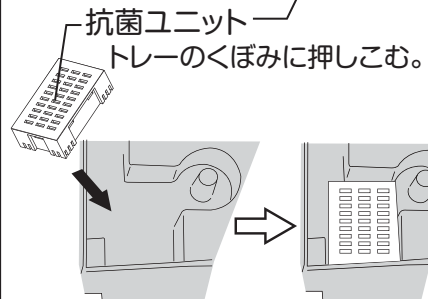
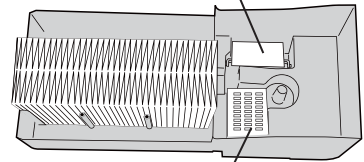
1.取り出し

- ①水タンクカバーを外し、水タンクを取り出して
ください。
- ②トレーを引き出してください。
※水タンクを取り出さないとトレーは取り出せま
せん。

2.取り付け

- ①トレーを押し込んで、確実に本体に取り付けて
ください。
※確実に取り付けないと給水ランプが点灯し、運
転を停止したり、異音の原因になります。
- ②水タンクをセットして、水タンクカバーを取り付
けてください。

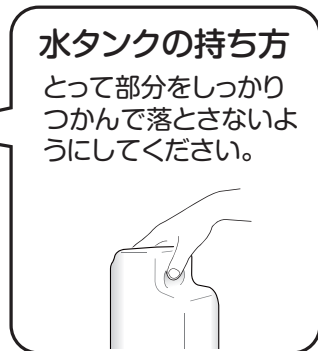
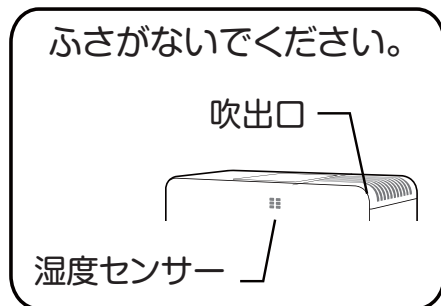
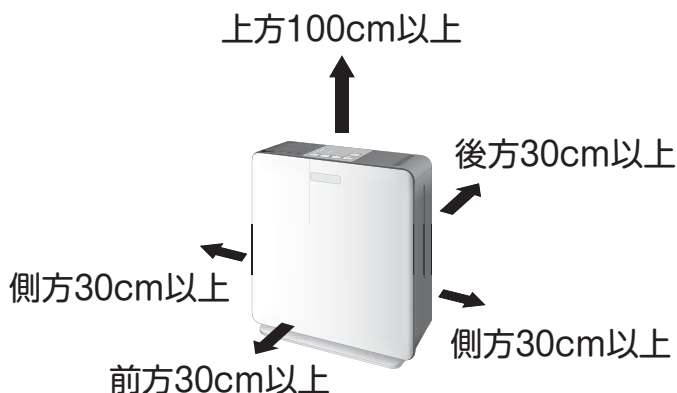
フロート
発砲スチロールを
外さないでください



準備

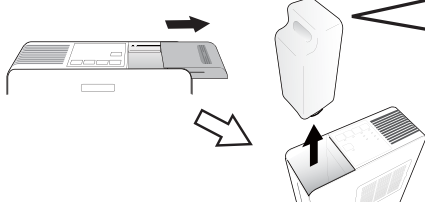
〔設置場所〕

- 直射日光やエアコン・暖房機の温風が当たらない場所に設置してください。
- 外気の影響を受けやすい窓際から離してください。
- 水平で安定した場所に設置してください。
- 吹出口や湿度センサー部をカーテンなどでふさがないでください。
- 図の範囲内には物をおかないでください。



〔水タンクへの給水〕

- 1 水タンクカバーを開けて、水タンクを取り出してください。



- 2 タンクキャップを外し、水道水を入れてください。



- 3 タンクキャップを確実に閉めてください。
 - タンクの外側についた水はふき取ってください。
 - タンクキャップを下にして水が漏れないか確認してください。
- 4 水タンクを本体にセットして、カバーを閉じてください。



次のような水は使わないでください。

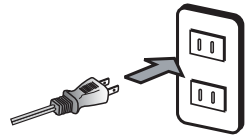
- ミネラルウォーター、アルカリイオン水、井戸水、浄水器の水カビや雑菌が繁殖しやすくなり故障の原因になります。
- 40℃以上の温水や化学薬品、芳香剤、アロマオイル、汚れた水変形や故障の原因になります。

使いかた

1 電源プラグをコンセントに差し込む

“ピッ”という音がします。

- コンセントの定格を超えないようにしてください。
- ゆるみやがたつきがあるコンセントは使用しないでください。
- プラグの根元までしっかり差し込んでください。



2 運転を始める



電源ボタンを押してください。

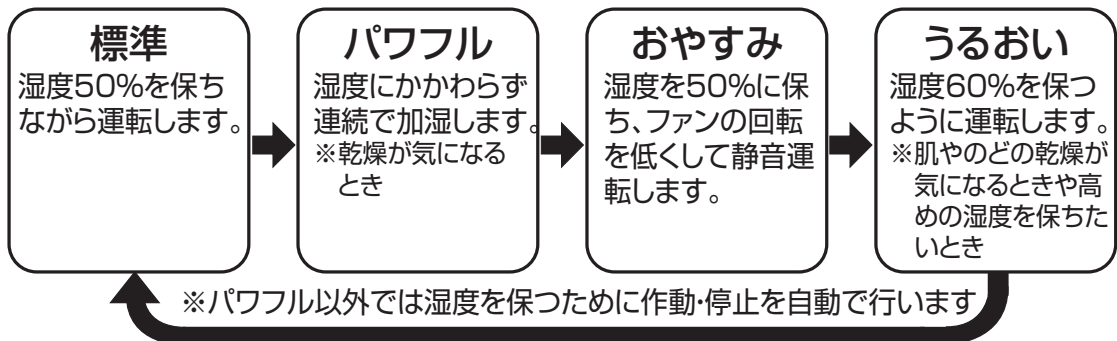
標準モードで運転を始め、標準のランプが点灯します。

3 運転モードを選ぶ



運転モードボタンを押すたびに運転が切り換り、ランプの点灯も切り換ります。

連続運転可能時間の目安:約6.5時間(パワフル運転時)



4 エコ運転にする



- エコボタンを押すと、エコランプが点灯して運転が切り換ります。ヒーターを切るため、電力消費量は小さくなりますが、加湿量も低くなりますので、多く加湿したいときには向いていません。
- 解除したいときは、もう1度ボタンを押してください。

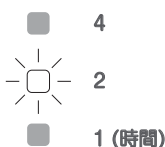
5 運転を終了する

電源ボタンを押すと“ピッ”という音がしてランプが消灯し、約30秒間送風して運転が停止します。ご確認後、電源プラグをコンセントから抜いてください。

使いかた

—各機能・その他—

切りタイマー



設定が2時間のとき

- 運転状態で、お好みの設定をし運転を始めてから、タイマーボタンを押してください。押すたびに「1→2→4(時間)」と設定時間が切り換わります。このとき設定されたランプが点灯します。
- 設定した時間が経過すると、運転が止まります。

- タイマー設定後でも時間を変更できます。(繰り返し押して、ランプが消灯したときは設定解除されます)
- 設定を変更した場合には、その時点から時間をカウントします。
- 設定後に電源ボタンを押すと設定が解除され運転が始まります。

チャイルドロックの使いかた



「チャイルドロック」ボタンを3秒間長押しします。チャイルドロックランプが点灯します。停止状態でロック:運転開始できなくなります。運転状態でロック:運転設定を変更できなくなり、電源を切る以外の操作ができなくなります。

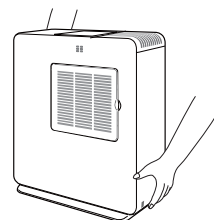
解除

解除するときは、再びボタンを3秒間長押ししてください。

※ロック中に転倒して転倒オフスイッチが動作すると電源は切れますが、ロックは解除されません。再度運転するときは、本体を正常に起こしてロックを解除してから再度電源ボタンを押してください。

〔本体の持ちかた〕

移動するときには、図のように両側からしっかり支えて持ち、慎重に運んでください。水が入っているときは、水タンクを取り外し、本体を傾けたり、揺らさないようにしてください。水がこぼれるおそれがあります。



水がなくなったときは

- 水がなくなると、給水ランプの点灯とブザーでお知らせし、数秒後に運転を停止します。
- 再度運転を行う場合は、水タンクに水を入れて本体に確実にセットしてから、電源ボタンを押してください。(トレーが確実にセットされているかをご確認ください。)

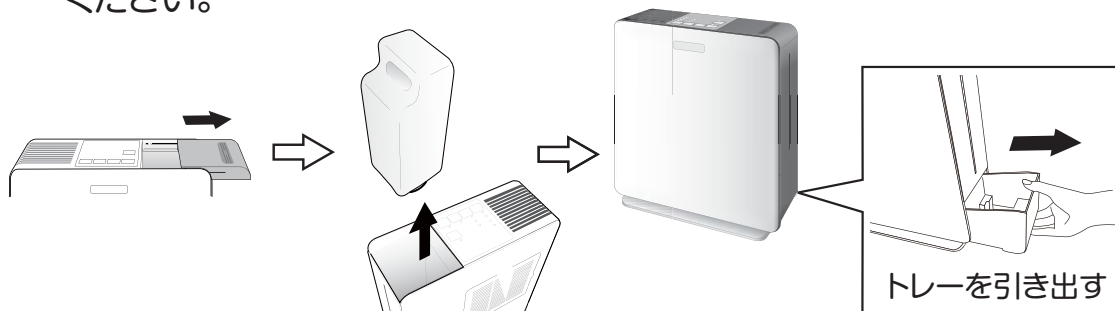
お手入れ



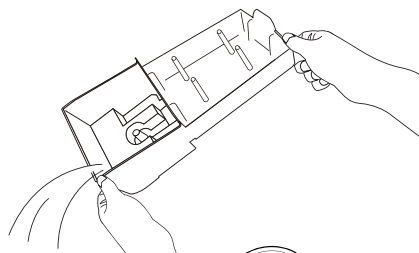
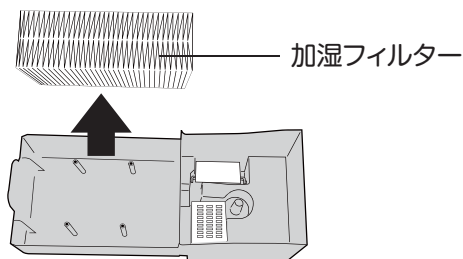
お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷めてから行ってください。

1 水タンクカバー・水タンク・トレイ・加湿フィルターを取り外す

- 水タンクカバーを外し水タンクを取り出してから、トレイを取り出してください。



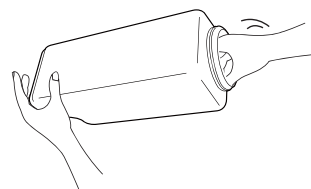
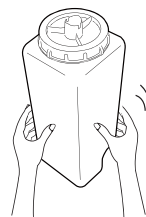
- 加湿フィルターを取り出し、トレイの水を捨ててください。



2 水タンクのお手入れをする(毎日)

- 水で洗う

- ・使用期間中はタンク内部を常に清潔にし、毎日新しい水道水と入れ替えてください。
- ・水を入れて振り洗いしたり、柄付きブラシや手で洗うこともできます。
- ・水あかが取れにくいときは、台所用中性洗剤を溶かしたぬるま湯で洗ってください。



3 本体・水タンクカバーのお手入れをする(汚れてきたら)

- 乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。

汚れがひどい場合は、ぬるま湯でうすめた台所用中性洗剤を布に含ませ、固くしぼってふいてください。



お手入れにはベンジン、シンナー、磨き粉などを使わないでください。

お手入れ



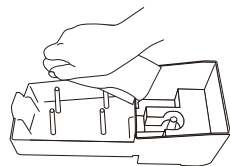
お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷めてから行ってください。

4 トレー・加湿フィルター・抗菌ボックスのお手入れ (1週間に1回程度)

トレーや加湿フィルターに付着した水あかを放置すると、固まって取れにくくなったり、異臭が発生したり、加湿量が低下する原因になります。定期的に必ずお手入れをしてください。

【トレー】

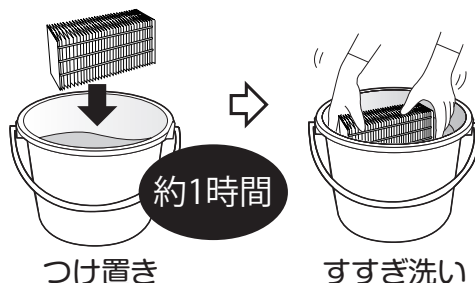
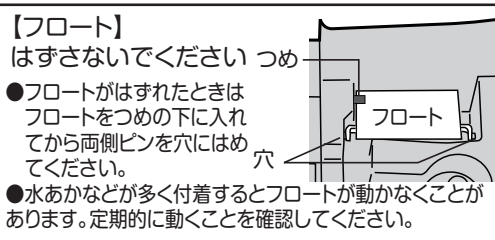
- 乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。
- ◆汚れがひどい場合は、ぬるま湯でうすめた台所用中性洗剤を布に含ませ固くしぼってふいてください。



【加湿フィルター】

- 水の中に含まれるカルシウムなどのミネラル分(水あか)が加湿フィルターに付着しますので、次のようにお手入れをしてください。

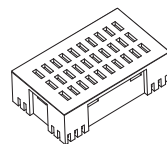
1. 台所用中性洗剤を入れたぬるま湯に入れてつけ置きしてください。
(約1時間)
2. 新しい水ですすぎ洗いをしてください。
3. お手入れ終了後は、トレー・加湿フィルターを元通りにセットしてください。



※水タンク・トレー・加湿フィルターの水あかが取れにくいとき、また1ヶ月に1回はP13の「クエン酸の使い方」を参考にお手入れしてください。

【抗菌ユニット】

ケースの中に抗菌剤が入っています。ケースの穴が詰まってきたら、スポンジやブラシを使って汚れを取り除いてください。



※抗菌ユニットはお使いに伴い、徐々に効果が低下します。1シーズンごとの交換をおすすめします(お買い上げの販売店にてお求めください)。

お手入れ

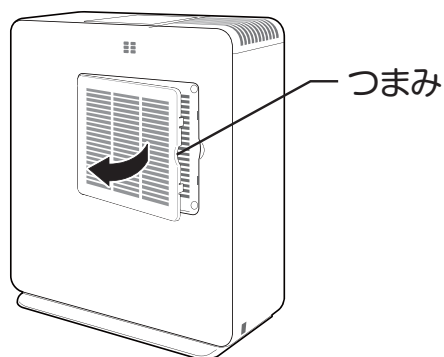
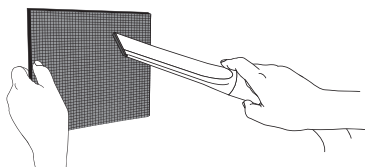


お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

5 吸気フィルターのお手入れ (1週間に1回程度)

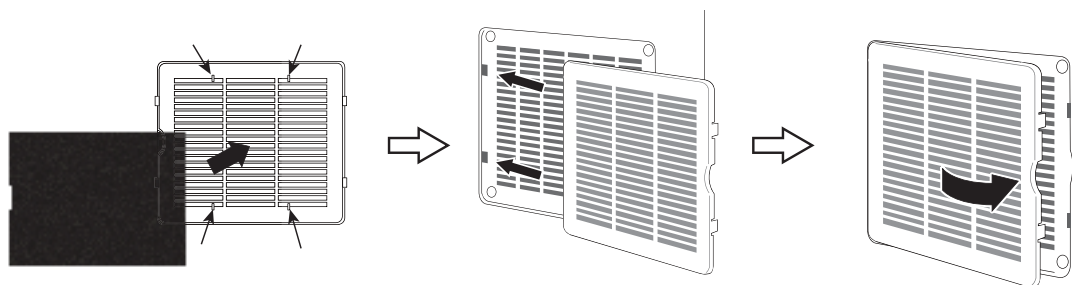
吸気フィルターがホコリなどで目詰まりすると性能が低下したり、故障の原因になります。定期的にお手入れをしてください。

- つまみを持って、吸気フィルターカバーを外してください。
- 吸気フィルターを外し、掃除機でほこりを吸い取ってください。



- ・シンナー・ベンジンなどの揮発性の溶剤は使用しないでください。
- ・ブラシなどは使用しないでください。

- お手入れが終わったら吸気フィルターを元に戻してカバーを取り付けてください。



フィルターをカバー内側の
つめ (4か所) に差し込む

カバー外側にあるつめを
本体の穴 (2か所) に差し
込む

つまみを押して
固定する



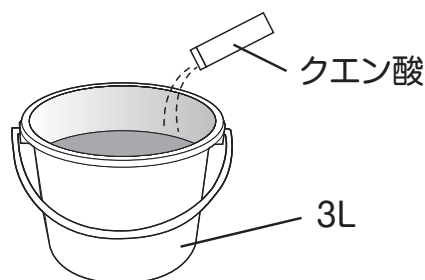
- 吸気フィルターなしで絶対に使用しないでください。故障の原因になります。
- 吸気フィルターを熱湯で洗ったり、直火にあてて乾かさないうでください。変形、変質の原因になります。

お手入れ

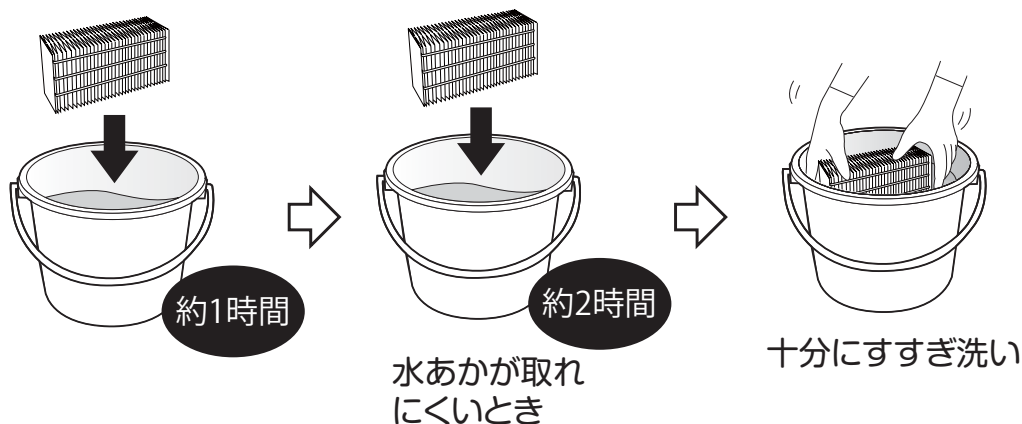
■加湿フィルターやトレーなどの水あか（白い付着物）が取れにくいときのお手入れ

クエン酸を使ってお手入れをしてください。
（クエン酸は薬局・薬店でお求めになれます。）

クエン酸 約20g（大さじすりきり2杯程度）



- ①水またはぬるま湯（40℃以下）に入れてよく溶かしてください。
- ②加湿フィルターや水タンクをつけ置きしてください。（約1時間）
- ③新しい水で十分にすすぎ洗いをしてください。すすぎが不十分だとにおいや故障の原因になります。



- ・濃度が高すぎると部品破損の原因になりますのでご注意ください。
- ・クエン酸は成分が残ると、においの発生や故障の原因になります。
- ・水質により汚れ具合が変わるため、1カ月以内でも、においがしたりタンクの水が減りにくい場合は、お手入れしてください。

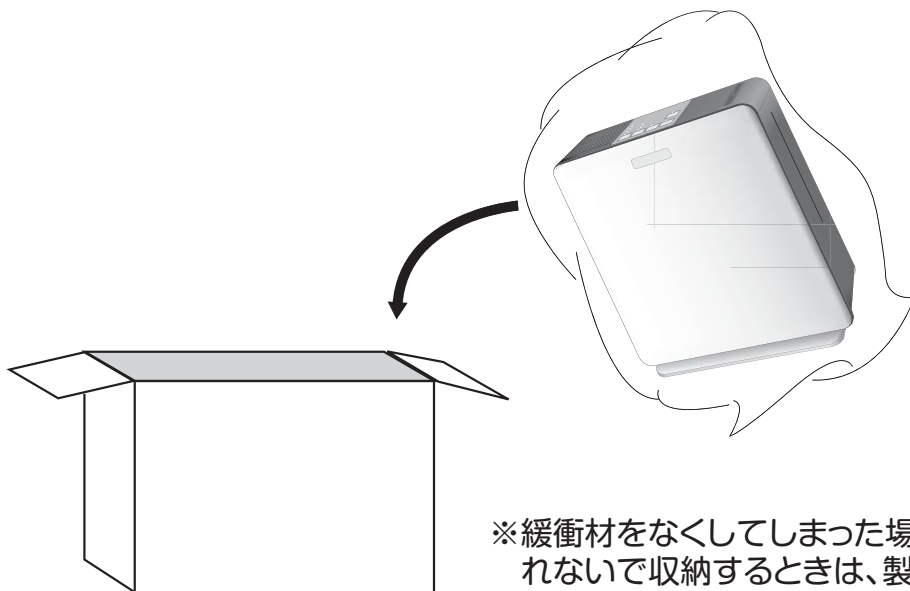
※お手入れ後は、水分をきれいにふき取って、各部品が正しく取り付けられていることを確認してからご使用ください。



- 加湿フィルターは必ず取り付けてください。機能低下、故障の原因になります。
- 加湿フィルターを熱湯で洗ったり、直火にあてて乾かさないでください。変形、変質の原因になります。
- シンナー・ベンジンなどの揮発性の溶剤は使用しないでください。

保管のしかた

- お手入れのあと、本体や水タンクの水を拭き取り直射日光の当たらないところで乾燥させてください。
- 箱に入れるか、ポリ袋をかぶせ、湿気の少ない直射日光の当たらないところに保管してください。



※緩衝材をなくしてしまった場合や、箱に入れないで収納するときは、製品を立ててポリ袋などを被せ、収納してください。



注意

電源コードをきつく束ねたり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。

- コードが破損し、火災や故障の原因になります。

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、次の点をお調べください。

症 状	原因と対策
運転しない	<ul style="list-style-type: none">●電源プラグがコンセントから外れていませんか。 →しっかりと差し込んでください。●トレーが確実にセットされていますか。 →しっかりと取り付けてください。
加湿しない 水が減らない	<ul style="list-style-type: none">●パワフル運転以外は、一定の湿度になると運転を停止します。 (P8「使いかた」参照)●加湿フィルターがセットされていますか。 →確実に加湿フィルターをセットしてください。●加湿フィルターに水あかなどが多く付着していませんか。 →加湿フィルターをお手入れしてください。●この製品は温風気化式ですので、お部屋の温度、湿度によって加湿量が違ってきます。
においがする	<ul style="list-style-type: none">●水が古くなっていたり、加湿フィルターが汚れていませんか。 →新しい水に交換して、加湿フィルターをお手入れしてください。●使い始めは少し樹脂などのにおいがすることがありますが、ご使用にともないにおいがなくなります。
蒸気や霧が 出ない	<ul style="list-style-type: none">●この製品は温風で水を気化させる方式であるため、スチーム式や超音波式のように蒸気や霧は見えません。
風の出が少 ない	<ul style="list-style-type: none">●吸気フィルターがほこりで目詰まりしていませんか。 →吸気フィルターをお手入れしてください。
湿度が上が らない	<ul style="list-style-type: none">●お部屋の面積が適用床面積より広くはないですか。●じゅうたん敷きの場合や、換気状態、床や壁の材質によっては湿度が上がりにくいことがあります。

※上記の点検または処置をしても異常がなおらなかったり、原因がわからないときは、電源プラグをコンセントから抜き、トレーや水タンクの水を捨て乾燥させてから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

よくあるご質問

ご質問	回答
電気代はどのくらいかかりますか？	パワフル運転(最大連続加湿の場合) 1時間あたり約7.5円 エコ運転 1時間あたり約0.4円 ※電気料金目安単価22円/kWhを基に計算しています。
何時間連続で使用できますか？	パワフル運転(最も水を消費する場合) :約6.5時間 エコ運転時(ヒーター切) :約16.5時間
蒸気がでないが本当に加湿していますか？	この製品は、水を沸騰させない温風気化式のため蒸気は見えませんが、加湿は行っています。
加湿量が少ない？	部屋の温度や湿度によって加湿量は違ってきます。暖かく乾燥しているほうが加湿量は増えます。
温風気化式とは？	加湿フィルター付着した水に温風をあて、気化を促進させる方式です。水は熱くならず、お部屋の湿度が高いときには、加湿量が少なくなり、過度な加湿をしにくい特徴があります。当製品はさらに湿度センサーによって、適正な湿度に保ちます。
湿度表示が変わりませんか？	■ 70%以上 が点灯したままのとき 設置場所によって湿度を正しく感知しないことがありますので、設置場所を変えてください。 ■ 30%以下 が点灯したままのとき 部屋が広すぎませんか。(P17の適用床面積参照)
転倒オフスイッチはどこについていますか？	転倒オフスイッチは内蔵されていますので、外観では見えません。また、持ち上げても電源は切れません。傾けると電源は切れます。

仕様

電源電圧	交流100V 50/60Hz	
本体寸法	幅328×奥行160×高さ371mm	
質量	約3.6kg	
電源コード長	1.8m	
運転モード	パワフル	エコ
加湿量	450ml/h	180ml/h
消費電力	340W	20W
連続加湿時間	約6.5時間	約16.5時間
適用床面積 パワフル運転時	木造和室:~約8畳 プレハブ洋室:~約13畳	
安全装置	転倒オフスイッチ、サーモスタット、温度ヒューズ、 電流ヒューズ	
水タンク容量	約3.0L	

※加湿量は、室温20℃・湿度30%のときの最大値で表しています。

「パワフル」運転時以外は、室内の湿度に応じて、加湿・停止を繰り返し湿度を調整します。

※室内の温度や湿度によって加湿量はかわります。

アフターサービスについて

製品の保証について

- この説明書には製品の保証書がついています。

保証書は、お買上げの販売店で「お買上げ日」「販売店名」などの記入を受け、ご確認のうえ内容をよくお読みいただき大切に保管してください。

- 保証期間はお買上げ日より1年間です。

保証書の記載内容により修理をいたしますが、保証期間中でも有料となる場合があります。

- 保証期間後の修理

お買上げ販売店にご相談ください。修理によって使用できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」に沿ってご確認していただき、それでも異常のあるときは、ただちにご使用を中止し、お買上げ販売店に修理をお申しつけください。ご自分での分解・修理は絶対にしないでください。感電やけがの恐れがあります。

補修用性能部品について

この製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後6年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

この商品についてのお取扱い・お手入れ方法などのご相談、ご転居されたりご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、「お客様ご相談窓口」にご相談ください。

お客様ご相談窓口

ダイヤル  0570-019-700

※PHS、IP電話など一部の電話からのご利用はできません。
受付時間 10:00～17:00 (土・日・祝日を除く)

- Eメールでのご相談も受け付けております。その際は商品名・形名・ご相談内容・お名前・お電話番号をご記入の上、ご相談ください。

Eメールでのご相談は

info_a@yamazen.co.jp

個人情報のお取り扱いについて

株式会社 山善及びその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容をご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせの際には商品名・形名をご連絡ください。